



共に前へ

佐世保市立日宇中学校
 学校だより No. 33
 発行日 R5.9.25
 発行者 中野 一史

～昨日までの自分（自分達）を超える～

学力調査結果について 1

今年度、実施された「全国学力・学習状況調査（3年）」「長崎県学力調査（2年）」「佐世保市学力調査（1年）」について調査結果が出ましたので、今号と次号でお知らせいたします。今号では、全国学力・学習状況調査結果の概要についてお知らせいたします。

【全国学力学習状況調査】

○平均正答率

（今年度の全国・長崎県の平均正答率）

学年	3年生			
教科	国語	数学	英語	英語「話すこと」
長崎県	69%	48%	40%	—
全国	69.8%	51.0%	45.6%	12.4%

・本校の平均正答率は、全国平均を 9～14ポイント下回っている。

○各教科から出てきた課題

国語については、「文脈に即して漢字を正しく書く」「具体と抽象など情報と情報の関係について理解する」の問題、また古文の全ての問題において、全体の正答率の差が大きい状況でした。観点では、「情報の扱い方や我が国の言語文化に関する知識及び技能」、「書く力」「読む力」に課題が見られました。課題が見られた問題は、次の問題です。

- ——— 線部のひらがなを漢字に直し、楷書でていねいに書きなさい。

おし量って考える

- 山田さんは「■『判じ絵』とは何か」と見出しを付けた文章を内容のまとまりで二つに分け、後半のまとまりには分けた内容と合う見出しを付けることにしました。分ける箇所としても最も適切なものを、(ア) から (オ) までの中から一つ選びなさい。また訪販のまとまりに付ける見出しを考えて書きなさい。

(本文)

■ 「判じ絵」とは何か

判じ絵とは、描かれている絵や記号などが何を意味しているかを解読して楽しむものである。

(ア) ただし【図1】のように、描かれているものと意味しているものが異なるため、解読するには「判じること、つまり、知っていることをもとに「おし量って考える」ことが必要になる。(イ) 言うてみれば、なぜなぜやクイズのようなものなのである。(ウ) また、「判じ絵」の起源を調べたところ、平安時代後期から行われていた「ことば遊び」だと考えられていることが分かった。(エ) そして、江戸時代に庶民の間に広まる中で様々なものが生まれ、浮世絵ともつながりの深い文化として定着していったという。(オ) さらに明治に時代が移っても、人々の娯楽として親しまれ、現代でも雑誌の挿絵やテレビのクイズ番組などで見ることができる。

- 〈原文〉の ——— 線部「いひける」を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。

【重点目標】めざす生徒の姿

- ・学ぶ楽しさを「自ら学ぶ力」につなげ、目標を立てて学習に取り組む生徒
- ・日宇中PRIDEを自覚し、やるべきことに、我慢強く、最後まで取り組む生徒
- ・みんながリーダー・みんながフォロワーとしてより良い学校・学級づくりに取り組む生徒
- ・自らの進化・成長に向け、「いのち」を輝かせて諸活動に取り組む生徒

○日宇中ホームページアドレス

<http://www.city.sasebo.ed.jp/jh-hiu/>

数学については、「数と整式の情報計算」「累積度数の意味の理解」「四分位範囲の意味の理解」「ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明する」等の問題についての正答率の差が大きく、領域別では「図形」「データの利用」「関数」、評価の観点では「知識・技能」「思考・判断・表現」に課題があることがわかりました。特に課題が見られた問題は、次のような問題です。

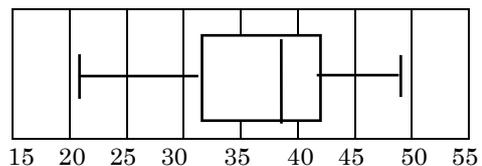
- $12 \left[\frac{X}{4} + \frac{Y}{6} \right]$ を計算しなさい。

- 女子50m自由形の記録の [ア] には最小の29.00秒以上30.00秒未満の階級までの累積度数が入ります。[ア]に入る値を求めなさい。

女子50m自由形の記録

階級(秒)	度数	累積度数(人)
以上 未満		
27.00～28.00	3	<input type="text"/>
28.00～29.00	2	<input type="text"/>
29.00～30.00	4	[ア]
30.00～31.00	11	<input type="text"/>
31.00～32.00	8	<input type="text"/>
32.00～33.00	6	<input type="text"/>
33.00～34.00	3	<input type="text"/>
34.00～35.00	3	<input type="text"/>
合計	40	

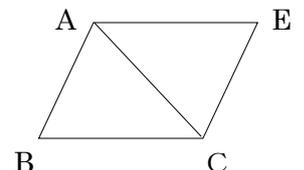
- 1961年～1975年の四分範囲を求めなさい。



経過日数(日)

	最小値	第1四分位数	中央値	第3四分位数	最大値
1961年～1975年	2 3	3 4	4 1	4 4	5 1

- 優奈さんは、前ページの方法1の直線BCと直線AEが平行になるかどうかを調べるために、右の図6をかきました。図6の△ABCと△CEAは、それぞれCA=CB、AC=AEで、△ABC≡△CEAです。図6において、BC//AEであることは、すでわかっている△ABC≡△CEAをもとにして、同位角または錯角が等しいことを示すことで証明できます。BC//AEであることを証明しなさい。



英語については、「情報を聞き取る」「事実や考え方が書かれた英文を読み、考えを表している英文を選択する」「社会的な話題について、短い文章の概要を捉える」等の問題についての正答率の差が大きく、領域別では「書くこと」「読むこと」「話すこと」、評価の観点では「知識・技能」「思考・判断・表現」に課題があることがわかりました。

■次の英文には、事実や考えが書かれています。考えが書かれている英文を、下線部1から4までのの中から1つ選びなさい。

There is a mountain in our city. It is 815meters
1
high. I went there this summer with my family.
2
I saw a lot of garbage. I was surprised to see it.

We cleaned the place for about 30 minutes.
3
Everyone should bring garbage back home.
4

■英語の授業で、ブラウン先生が作成した文章が学習者用端末に送信されました。これを読んで、以下の問いに答えなさい。

Today we see many kinds of robots around us. They are helpful. When I went shopping, I saw a robot and it was working as a guide. I could talk to the robot in English or other languages. At some restaurants, robot bring our meals. They can carry many plates at one time. Thanks to them, the restaurant doesn't need a lot of staff members. We have robot pets, too. We can have them even if we are busy with work or we live in small apartments. People will have fun if they live with robot pets. As I explained, robots can change many people's lives for the better. Do you agree with me? Why or why not?

(1) ブラウン先生が最も伝えたいことを、下の1から4までの中から、1つ選びなさい。

- 1 We see many kinds of robots around us.
- 2 I saw a robot and it was working as a guide.
- 3 People will have fun if they live with robot pets.
- 4 Robots can change many people's lives for the better.

○学習状況調査

調査項目は72項目あり、主に「学習面」と「生活面」に関する質問事項で、4段階で評価するようになっています。全国平均と比べ、本校が顕著に上回っている項目（下回っている項目）は次の通りです。

(1) 学習面

番	学習面ベスト3
1	国語の勉強は好きですか (71.1% : +9.7)
2	英語の勉強は好きですか (55.4% : +3.5)
3	将来、積極的に英語を使うような生活をしたたり、職業に就いたりしたいと思いますか (38% : +1.3)

番	学習面ワースト5
1	スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動 (45.8% : -32.9)
2	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んだ (65.1% : -21.3)
3	土日など、1日1時間以上、勉強する (45.9% : -19.5) 普段、1日1時間以上、勉強する (48.8% : -17)
4	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた (44% : -18.1)
5	授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行った (53% : -16.1)

(2) 生活面

番	生活面ベスト5
1	毎日、同じくらいの時刻に寝ている (83.8% : +5.8)
2	人の役に立つ人間になりたい (96.4% : +3.9)
3	将来の夢や目標を持っている (69.9% : +3.6)
4	毎日、同じくらいの時刻に起きている (94.6% : +2.3)
5	友達関係に満足している (90.9% : +2.2)

番	生活面ワースト4
1	今住んでいる地域の行事に参加する (28.9% : -9.1)
2	人が困っているときは、進んで助けている (80.1% : -8) 困り事や不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか (58.4% : -8)
3	先生は、自分のよいところを褒めてくれる (79.5% : -7.8)
4	自分と違う意見について考えるのが楽しい (71.7% : -5.9)

「学習状況調査」からは、生活面における「就寝・起床の時間」「友達関係に満足」「人の役に立つ人間になりたい」「将来の夢や目標を持っている」の項目など、生活面での心の落ち着きが見受けられます。一方で、学習面での課題として「家庭学習の実践(習慣化)」「表現力の工夫」「話し合い活動」に課題が見られていました。「家庭学習の実践」については、「学校評価結果の考察」でもお知らせしているように、メディア利用も含め、「セルフマネジメント(自己管理能力)」を育成することが大切だと考えます。「表現力の工夫」「話し合い活動」については、2学期の授業改善に活かしていきたいと考えます。今後も生徒たちのよりよい成長に向けて、ご家庭から次の点について声かけや指導をお願いします。

【家庭学習の習慣化に向けて】

・家庭学習は、「まずは、机に向かって30分から(最低30分以上)」理想は、宿題(課題)+自主学習(30分~1時間)の実践

【スマホ・ゲーム等、メディア利用について】

・家庭での管理(学習時・睡眠時・学校に行くときは預かる)